

美濃市立美濃病院 経営強化プラン概要(案)

■経営強化プラン策定の背景

令和4年(2022年)3月に総務省は「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」を公表し、病院事業を設置している地方公共団体に対し経営強化プランの策定を求めています。美濃病院も、当該ガイドラインに基づき、今後も持続可能な地域医療体制を確保するため、「美濃市立美濃病院経営強化プラン」を策定します。

■計画の対象期間

令和5年度(2023年度)から令和9年度(2027年度)まで(5年間)

■美濃病院の現状

- ・平成21年度(2009年度)以降黒字を継続していますが、経常費用の大幅な増加により赤字化が懸念されます。
- ・人口減少により、外来患者数は年々減少が見込まれています。また、入院患者数は令和17年(2035年)頃まで増加傾向にあるが、その後、減少していく見込みです。
- ・地域の回復期医療を中心に対応するとともに、救急医療体制確保のため救急医療も担っています。
- ・常勤医の定数15名に対し平成16年(2004年)以降は定数を満たせない状況が続いており、医師確保が最大の課題です。

経営強化プランにおける取組

1. 役割・機能の最適化と連携の強化

- ・美濃市における唯一の病院として、地域の回復期の医療を中心に、対応可能な急性期から慢性期までの医療を担います。また、他病院や開業医との連携強化に努めます。
- ・地域包括ケアシステムの構築に向け、必要な医療の提供や介護事業者・行政等との連携に取り組みます。

2. 医師・看護師等の確保と働き方改革

①岐阜大学医学部等医療機関との連携や派遣の受入

- ・岐阜大学医学部及び松波総合病院等より常勤・非常勤医師の派遣の継続を依頼するとともに、受入環境の整備を図ります。

②研修プログラムの充実等を通じた若手医師の確保

- ・研修医及び専攻医を確保するため、複数の医療機関との連携を強化するとともに、研修プログラムの充実を図ります。

③新たな連携方法の検討

- ・医師の確保が困難な状況であり、「地域医療連携推進法人」の設立を検討していきます。

④タスクシフト／シェアの推進

- ・適切な労務管理の推進に努めるとともに、医師・看護師の負担軽減を目的に技師等とのタスクシェアを図ります。

3. 経営形態の見直し

- ・当面は、現状の地方公営企業法の一部適用での経営を継続しますが、経営状況によっては、他の形態を検討します。

4. 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

- ・二次医療圏における美濃病院の役割の明確化、近隣医療機関、医師会、保健所等との連携を強化します。
- ・施設・設備の整備を図るとともに、感染防護具等の備蓄に努めます。
- ・感染症に関する医療従事者の育成を図ります。

5. 施設・設備の最適化

①施設・設備の適正管理と整備費の抑制

- ・施設、設備、医療機器の老朽化が進んでおり、財政負担を平準化するため、計画的な整備に努めます。

②ICTの活用

- ・マイナンバーカードの診察券利用やオンライン診療の推進等ICTの活用を図ります。

6. 経営の効率化

①外来診療の強化

- ・他院の二次健診者のスムーズな受診のため、初診予約（総合診療科）の設置を検討します。
- ・循環器疾患増加に対応するため、心大血管リハビリテーションを開始します。
- ・地域の開業医や在宅サービス支援部門との連携を密にした在宅療養を推進します。

②入院診療の強化

- ・他の医療機関での高度急性期等の治療が終了した後、回復期としての受け皿機能を強化します。
- ・退院後の患者フォローを訪問看護ステーションにより積極的な対応を図ります。
- ・レスパイト入院にも対応していきます。

③地域のかかりつけ病院としての機能強化

- ・地域の人から親しまれ、頼りにされ、最初に受診する病院としてなくてはならない価値をもつ病院を目指し取り組みを行います。
- ・高齢者に対応するため、総合外来的診療とがん、整形疾患、生活習慣病に対応する専門外来により疾病管理します。
- ・入院時の問題解決に向け、他職種によるPFMを強化します。
- ・地域のハブ病院としての機能を向上し、医療機関や介護事業者等との連携を強化します。
- ・救急患者の受入れを24時間体制で行い、地域の高齢者救急を支え、在宅支援病院としての役割を果たします。

④収入増加・確保対策、経費削減・抑制対策

- ・診療報酬改定等への的確な対応による収入確保に努めるとともに、委託契約の見直しや医薬品・診療材料等の価格交渉に努め、経費の削減を図ります。
- ・更新の必要性及び導入効果など考慮した計画的な医療機器の整備を図ります。

経営指標に係る数値目標

項目		R4年度 (2022年度) 実績	R5年度 (2023年度) 見込	R9年度 (2027年度) 目標	
収益改善にかかる 目標	経常収支比率 (%)	100.1	98.5	100.2	
	修正医業収支比率 (%)	95.5	97.1	100.4	
収入確保にかかる 目標	1日あたり 平均患者数 (人)	入院	105.1	107.3	108
		外来	251.2	260	280
	患者1人1 日あたり診 療収入(円)	入院	41,031	40,700	41,300
		外来	12,984	12,000	12,500
	病床利用率 (%)		86.2	88	88.5
	DPC病棟平均在院日数(日)		12.6	12.6	13
経費削減にかかる 目標	対医業収益 比率 (%)	材料費	12.6	12.3	12
		経費	27.4	27.5	26
		職員給与費	53.3	51.9	50.9
		減価償却費	8.2	8.1	7.4
	後発医薬品の使用割合 (%)		43	43	43
経営の安定性にか かる目標	常勤医師数 (人)	12	8	11	
	看護師数 (人) ※准看護師含む	100	103	96	
	企業債残高 (千円)	2,478,735	2,218,533	1,445,850	

プランの点検・評価・公表

- ・本プランについては、「美濃病院経営強化プラン検証委員会」にて毎年度2回点検・評価を実施。
- ・評価結果を病院HPで公表